

みんなく常設展クロスワード①
 一常設展1周編
 むずかしさ★★★ ① 1時間~

● 奈良県立民俗博物館/2021.4

農村の四季

①米作りに使われた道具。足で踏んで回転させて、
 稲穂から米の粒をはずすのに使われました。

川と人のかかわり

②大きな木の川舟はどんな時に使われたでしょう？

地域のもものづくり

③お祭りなどでも見かける赤くて小さな魚。
 大和郡山市で昔から育てられてきました。

④たくさんの種類の薬をしまっておくことができる
 ように引き出しがたくさんあります。

⑤山仕事で重い木材を運ぶ時に使われた木のそり。
 「木でできた馬」という意味からついた名前です。

⑥大昔から奈良に伝わる、細くて長くて白くてツル
 ツルした食べ物です。

昔の暮らし

⑦階段としても押し入れとしても使える優れもの！

⑧箱には月の形の窓があって、向きを変えて明るさを
 調節できます。

⑨電気冷蔵庫が広まる前の冷蔵庫は、これを使って
 食べ物を冷やしていました。

⑩火がついた熱々の炭を火鉢などに運ぶ道具。
 床が焦げないように木の台がついています。

⑪ダイヤル式電話の愛称です。

⑫電気が普及するまでのアイロンは炭を燃やす熱を
 使っていたことから何と呼ばれたでしょう？

キーワード ○ A ○ B ○ C ○ D ○ E ○ F ○ G ○ H ○ I